

マックスバリュ北海道株式会社

2017年2月期 第2四半期決算説明会

〈期間: 2016年3月1日～2016年8月31日〉

2016年10月6日

- 1, 決算概要
- 2, 2016年度 上期の業績
- 3, 2016年度 上期の取り組み
- 4, 2016年度 下期の取り組み

■ 決算概要【損益計算書】



(単位：百万円)	2015年度 上期実績	2016年度 公表数値	2016年度 上期実績		
				公表値 増減率	前期比 増減率
営業収益	51,097	63,000	61,570	▲2.3%	20.5%
営業総利益	11,345	-	13,611	-	20.0%
販売管理費及び一般管理費	10,936	-	13,379	-	22.3%
営業利益	409	200	231	15.9%	▲43.4%
営業利益率	0.8%	0.3%	0.4%	-	-
経常利益	447	200	235	17.6%	▲47.4%
経常利益率	0.9%	0.3%	0.4%	-	-
四半期純利益	▲ 90	▲ 180	▲ 224	-	-
四半期純利益率	▲0.2%	▲0.3%	▲0.4%	-	-

■ 決算概要【貸借対照表】



単位（百万円）	2016年2月末		2016年8月末		増減額
	金額	構成比	金額	構成比	
流動資産	9,495	30.1%	9,913	30.8%	417
固定資産	22,102	69.9%	22,257	69.2%	154
資産合計	31,598	100.0%	32,170	100.0%	571
流動負債	17,119	54.2%	18,818	58.5%	1,699
固定負債	6,160	19.5%	5,330	16.6%	▲830
負債合計	23,280	73.7%	24,148	75.1%	868
純資産合計	8,318	26.3%	8,021	24.9%	▲296
負債・純資産合計	31,598	100.0%	32,170	100.0%	571

■ 決算概要【主要財務諸表】



	2014年度上期	2015年度上期	2016年度上期
総資産経常利益率	2.3%	1.7%	0.7%
総資産当期純利益率	1.0%	▲0.3%	▲0.7%
自己資本経常利益率	8.3%	6.1%	3.0%
自己資本当期純利益率	3.8%	▲1.2%	▲2.8%
総資本回転率	1.7	1.9	1.9
売上高売上総利益率	21.4%	21.1%	21.0%
売上高営業利益率	1.2%	0.8%	0.4%
売上高経常利益率	1.3%	0.9%	0.4%
自己資本比率（新株予約権除く）	25.5%	27.3%	24.7%

単位:百万円



■ 業績の推移【営業利益】



600

単位: 百万円

公表数値達成

500

400

300

200

100

0

2012年度
上期

2013年度
上期

2014年度
上期

2015年度
上期

2016年度
上期

244

412

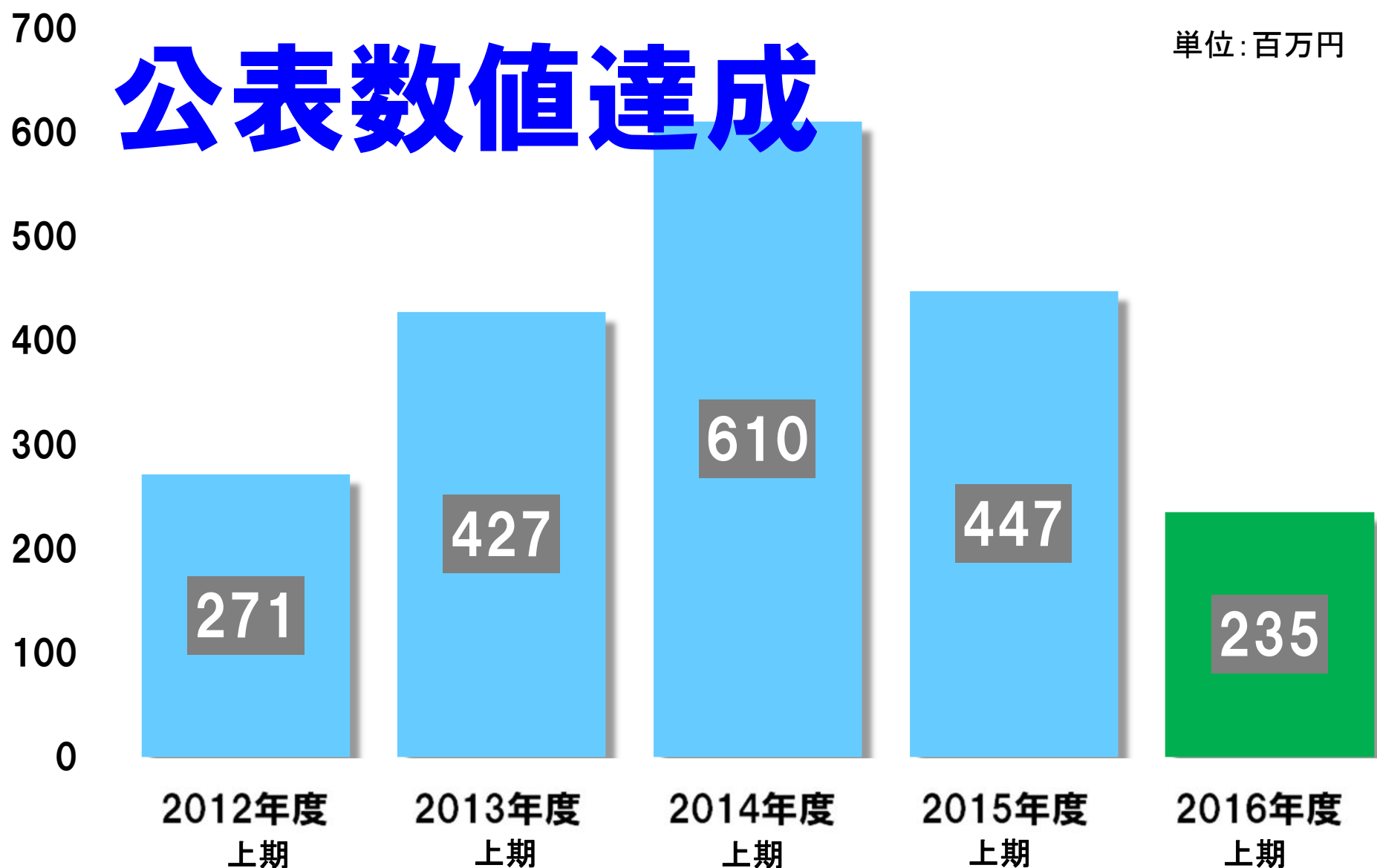
565

409

231



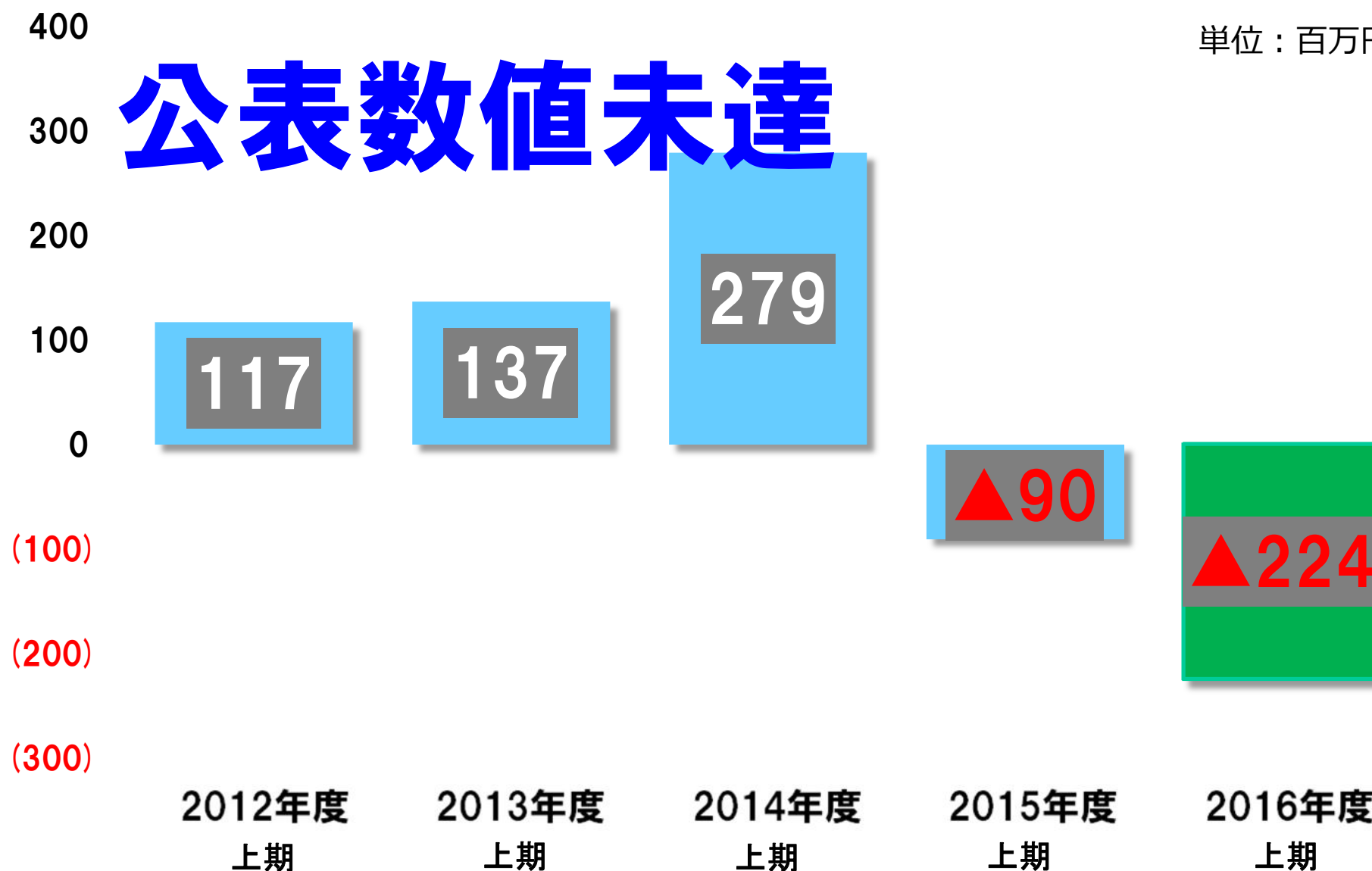
単位：百万円



■ 業績の推移【当期純利益】



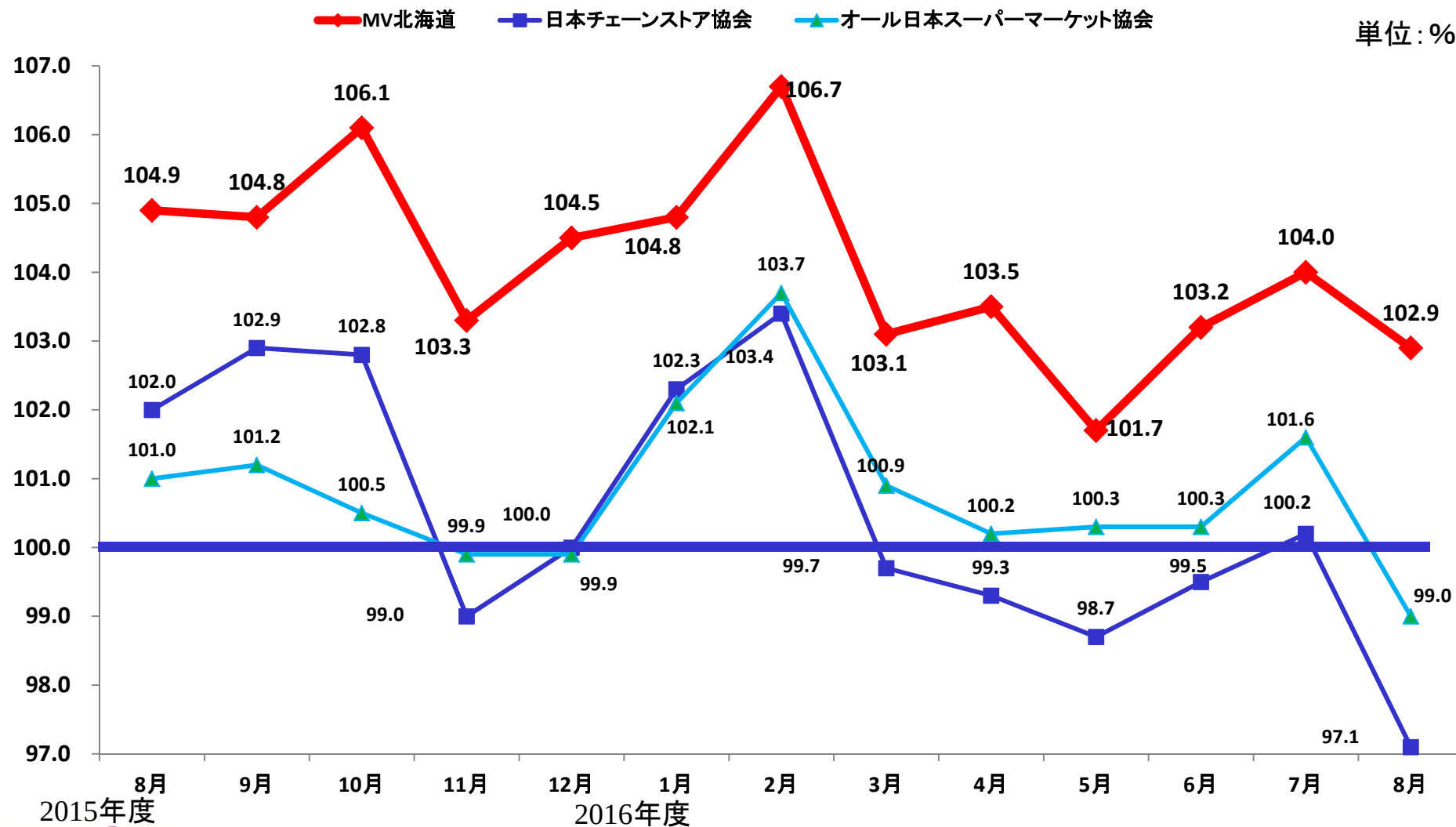
単位：百万円



■ 業界水準平均と当社の売上高推移 ※既存店売上高昨比



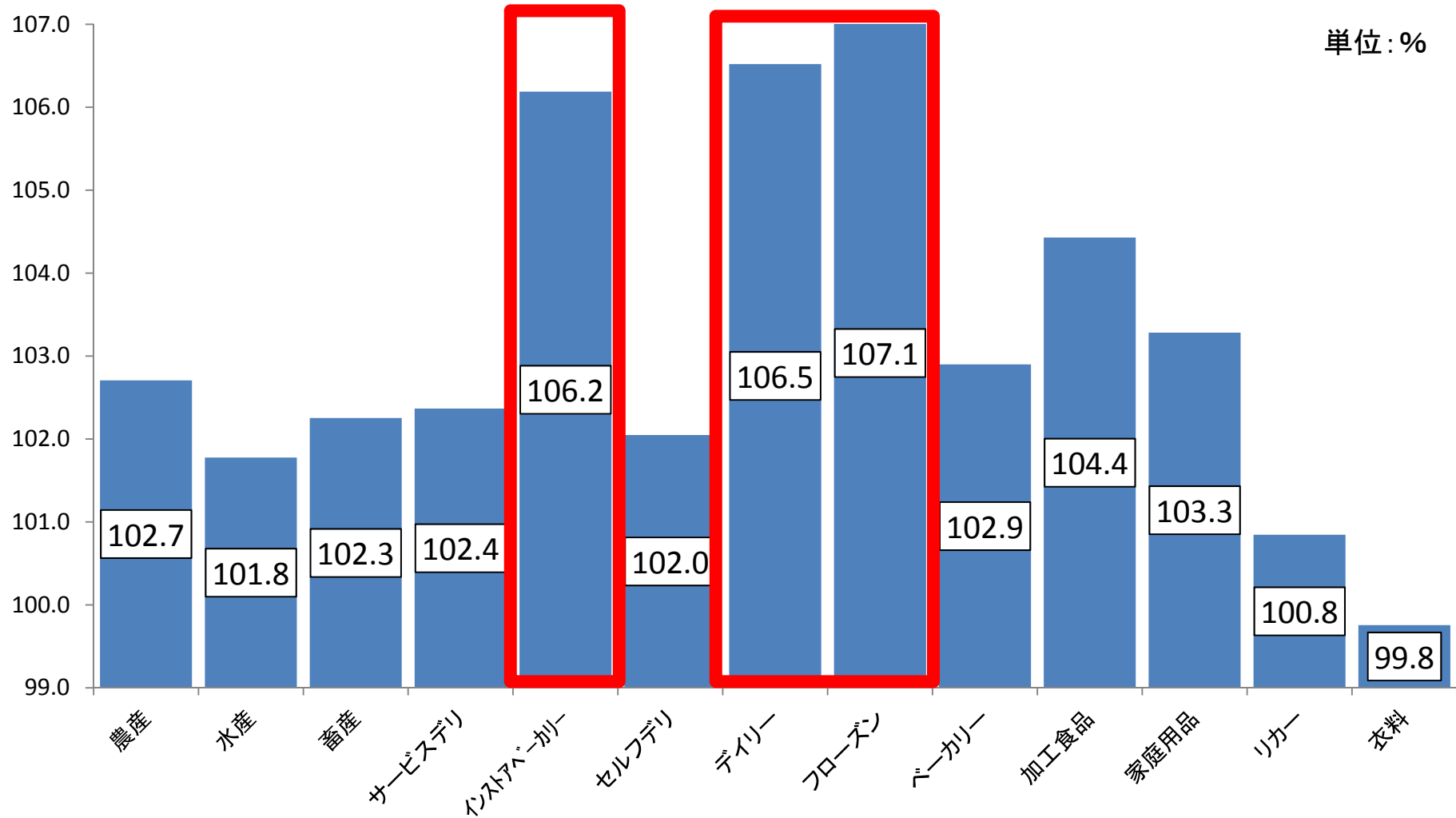
業界平均より高い水準で推移 17カ月連続昨比越



■ 部門別の売上高推移【既存店売上高】



デイリー、フローズン、インスタベーカリー好調



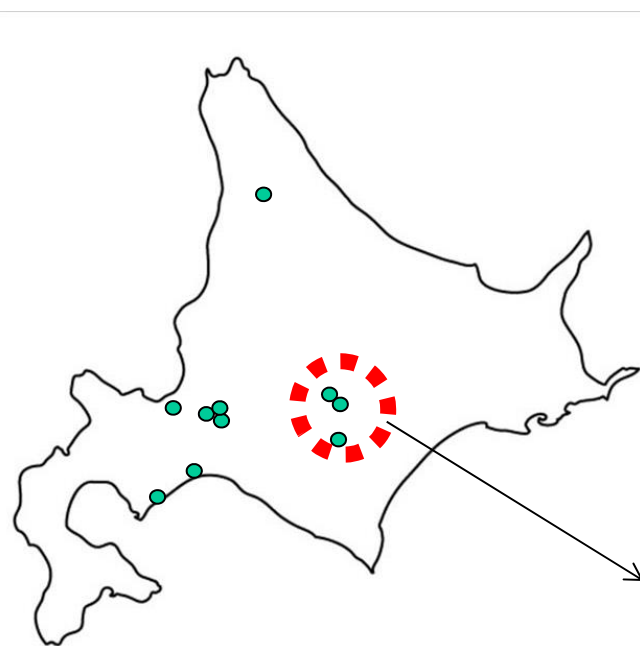
2016年度上期の取り組み

ベストローカルを目指し
「**地域密着経営に徹する**」
お客さま満足の実現に向けて
「基本の徹底と変化への対応」

■ 1. 競争力の強化【①店舗改装】



10店舗中、承継店舗を4店舗実施



十勝地区初の「マックスバリュ」
十勝地区で3店舗

〔上期の活性化店舗〕

3月：MV稲田店（承継店舗）

4月：MVマルヤマクラス店（承継店舗）、MV新花園店、MV北広島店

5月：MV中札内店（承継店舗）、MV室蘭東店

6月：MV厚別店、B豊平店

7月：MV名寄店、MVイーストモール店（承継店舗）



■ 1. 競争力の強化【①店舗改装】



店舗改装のポイント

- 1) 地域対応の深耕
- 2) デリカゾーンの拡大
- 3) 生鮮部門の強化
- 4) ニーズが拡大している
カテゴリーの品揃え増
- 5) 設備の新規導入と入れ替え



1. 競争力の強化【①店舗改装】



地域対応の深耕



地域で親しまれている商品の品揃えや、近郊で生産された農産物、漁獲された水産物などの品揃えの拡大



■ 1. 競争力の強化【①店舗改装】



デリカゾーンの拡大

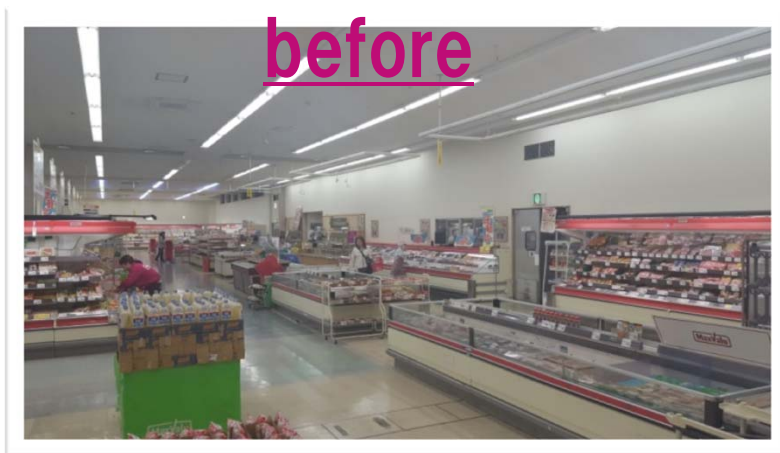


高まる「作らない化」のニーズに対応
お惣菜やパン、スイーツ、デザート等のスペース拡大

■ 1. 競争力の強化【①店舗改装】



生鮮部門の強化



生鮮各売場では売込み商品を
テレビモニターで訴求
五感に訴える

**品揃えの見直しとともに、五感に訴える売場づくりを実施
おいしさ、こだわりなどもあわせて訴求**

■ 1. 競争力の強化【①店舗改装】

ニーズが拡大しているカテゴリーの品揃え増



冷凍食品売場の拡大
リーチインケース導入により品揃え増

■ 1. 競争力の強化【①店舗改装】



ニーズが拡大しているカテゴリーの品揃え増

before



after

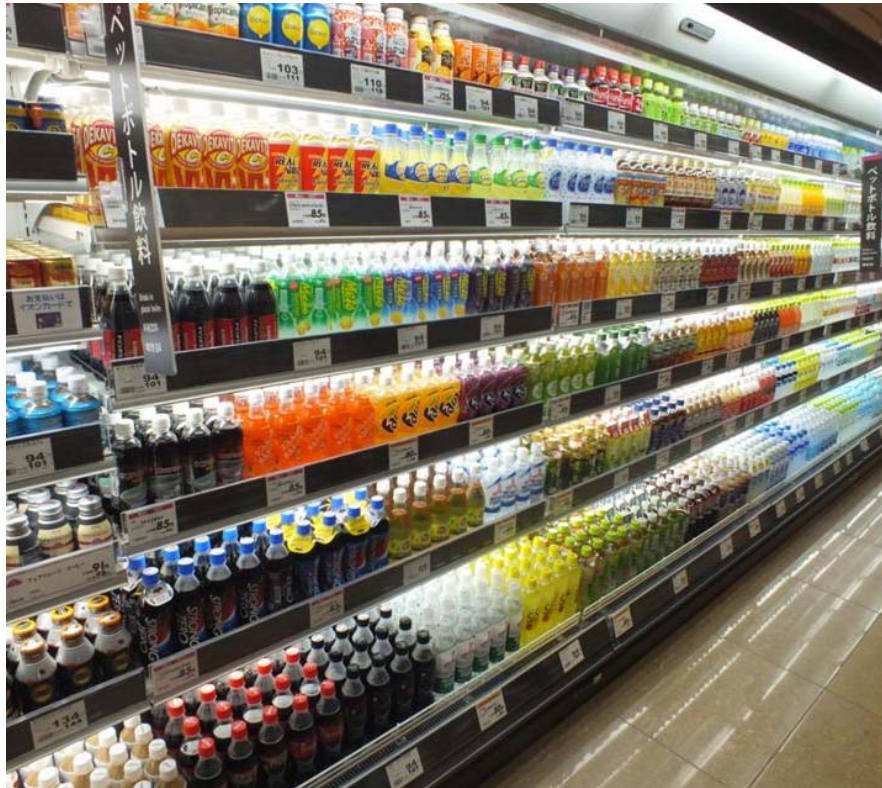


ヨーグルト売場を拡大

■ 1. 競争力の強化【①店舗改装】



設備の新規導入



棚の段数を増やし、売場在庫増
ピークタイムの品切れを防ぐ



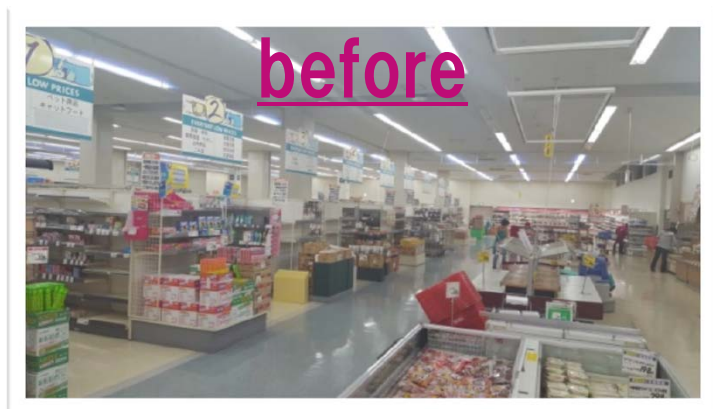
お支払セルフレジ導入で
混雑時の解消につながる

お客さまの負の解消につながる設備面の見直し



■ 1. 競争力の強化【①店舗改装】

設備の入れ替え



after

床の張り替え
商品が目立つ色に統一



ケースの入れ替えや新什器の導入など、大規模改装を実施

■ 1. 競争力の強化【②新規セールス】



月初のセールスをスタート



旧ダイエー店舗の主要セールをリニューアルして導入



■ 1. 競争力の強化【③節約志向対応】



1)「安い値」の取り組み



購入頻度が高い農産、加工食品を中心に価格訴求



■ 1. 競争力の強化【③節約志向対応】



2)「今週のおすすめ品」の取り組み



初夏の定番「かつおのたたき」



鍋の定番「鶏つみれ」

**各部門週替わりで価格訴求
季節や社会行事などを踏まえて商品設定**



■ 2. 商品本位の改革推進【①地域対応】



近隣で生産、漁獲された商品の品揃え増



地場商品の拡大
エリアによって品揃えを拡縮



地元生産者から仕入れた野菜の店頭販売
定期的に開催

**全店統一の品揃えではなく、エリアによって強弱をつける
⇒本部主導からエリア主導へ**

■ 2. 商品本位の改革推進【②高まるニーズへの対応】

高まるニーズへの対応⇒健康志向、単身世帯増加



健康食品の
品揃え

DSでも
特定保健用食品を
品揃え



女性開発チームによるお弁当開発

立地によって品揃えを変える⇒立地対応

■ 2. 商品本位の改革推進【③イチオシ商品】



総合的提案力向上による付加価値の訴求

かれのいのカレームニエル たまご添え



\\ イチオシ食材は //



北海道産 真がれい

カレイと野菜のさっぱりレンジ蒸し



\\ イチオシ食材は //



「北海道産 真がれい」

詳しく見る

売場では紹介された食材をはじめ、POP、DVDなどの販促物で訴求



**TV媒体と連動し、商品とともにメニューの提案
月度ごとに旬の食材を選定
昨年度はメニュー提案が月1回⇒本年度より月2回へ**

■ 3. 人材育成と組織の活性化



**技術を要する生鮮部門の
実務教育【加工技術向上】**

**月一度、本社従業員が
各店舗でミーティング実施**



■ 4. 地域社会とのつながり



植樹活動



**7/2(土)厚真町植樹 ボランティアの皆さまとともに6,000本を植樹
近隣の苫小牧地区従業員も参加**

食育活動



**店舗近隣の児童・園児を対象
農産売場で実際の野菜を用いて体験
本年度5年目**



■ 4. 地域社会とのつながり



ご当地WAONを通じて
各自治体に寄付



上期は旭川市、
札幌市、函館市で
贈呈式開催
各自治体の取り組み
への支援

緊急時の各自治体との取り組みと
想定外の災害への備え



災害に備える
防災訓練の
様子

8月台風の
緊急支援募金を
実施



2016年度下期の取り組み

ベストローカルを目指し
「**地域密着経営に徹する**」
お客さま満足の実現に向けて
「基本の徹底と変化への対応」

1) 店舗魅力の向上(改装の継続実施)



2) 節約志向に対応した品揃えと価格政策 (安い値の注力とDS店舗の強化)



3) WAON POINTカード会員 新規顧客の獲得推進 (会員特典の周知徹底)



現金でお買い物される
お客さまにポイントを進呈

4) 仮説と検証の繰り返し (新たなカテゴリーや商品への挑戦)



■ 2017年2月期 業績見通し



単位:百万円	2016年 2月期実績	2017年 2月期予想	対前期増減率 (%)
営 業 収 益	109,724	125,000	13.9
営 業 利 益	1,152	1,300	12.8
経 常 利 益	1,219	1,280	5.0
当 期 純 利 益	523	400	▲23.5
1 株 当 た り 当 期 純 利 益 (円)	76.12	57.95	▲23.9



【 IRに関するお問い合わせ先 】



経営企画部

TEL:011-631-5192

<http://www.mv-hokkaido.co.jp>

この資料は情報提供を目的としたものであり、投資判断、あるいは投資の勧誘等を目的としたものではありません。

この資料の作成に当っては、現在において可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現在における仮定を前提としております。